

# 三菱UFJフィナンシャル・グループ 株主の皆さまへ

第5期第3四半期(平成21年4月1日~平成21年12月31日)



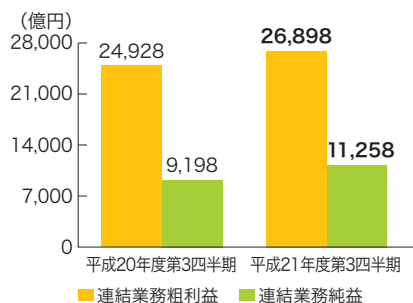
Quality for You 

MUFG

## 決算のポイント

- 連結四半期純利益(平成21年4月～12月)は、資金利益を中心とする業務粗利益の増加や経費の減少および株式等関係損益の改善などから、前年同期比2,591億円増益の2,170億円
- 貸出金は、平成21年10月より泉州銀行が連結対象から外れたことなどから平成21年9月末比2.6兆円減少。預金も同要因などにより平成21年9月末比2.9兆円減少
- 連結自己資本比率は、平成21年9月末比1.53ポイント上昇の14.83%

### 連結業務粗利益・連結業務純益



### 損益の状況

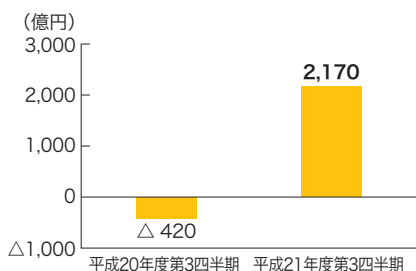
連結業務粗利益は、国内外の貸出収益や市場関連収益が堅調に推移したこと、平成20年12月に連結子会社化したアコム収益が連結決算に反映されたことなどから、前年同期比1,969億円増加の2兆6,898億円となりました。

営業費は、統合効果が現れてきたことに加え、グループを挙げて経費削減に取り組んだことから、89億円減少の1兆5,640億円となりました。この結果、連結業務純益は前年同期比2,059億円増加の1兆1,258億円となりました。

与信関係費用総額は、海外子会社で増加したほかアコム連結化要因もあり、前年同期比1,942億円増加の6,277億円となりました。一方、株式等関係損益は、株式相場の好転に伴い前年同期比3,062億円と大幅に改善しました。

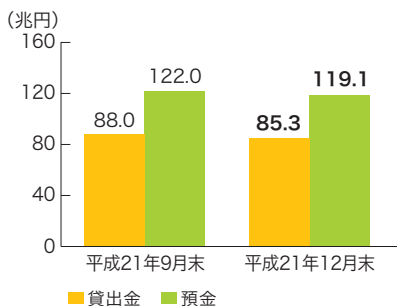
以上の結果、連結四半期純利益は前年同期比2,591億円増益の2,170億円となりました。

### 連結四半期純利益



(注) 業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

### 貸出金・預金

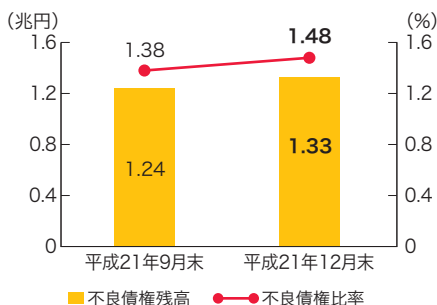


### 貸出金・預金の状況

貸出金は、平成21年10月より泉州銀行が連結対象から外れたことなどから平成21年9月末比2.6兆円減少し、85.3兆円となりました。

預金は、個人預金は増加した一方、泉州銀行の非連結化や海外店預金の減少により平成21年9月末比2.9兆円減少し、119.1兆円となりました。

### 不良債権残高・比率

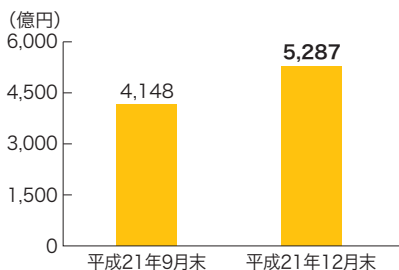


### 不良債権残高・比率の状況

不良債権残高\*は、平成21年9月末比931億円増加の1.33兆円となりました。不良債権比率\*は、平成21年9月末比0.10ポイント上昇の1.48%となりましたが、引き続き低水準を維持しています。

\*三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の単体合算

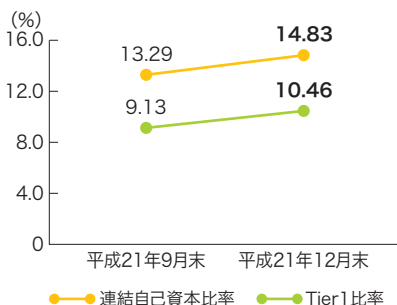
### 有価証券の含み損益



### 有価証券含み損益の状況

国内債券などの評価益改善により、有価証券の含み損益(その他有価証券評価差額)は、平成21年9月末比1,138億円増加し、5,287億円の含み益となりました。

## 連結自己資本比率



## ■ 連結自己資本比率の状況

連結自己資本比率は、平成21年9月末比1.53ポイント上昇し14.83%となりました。Tier1比率は1.32ポイント上昇し10.46%となりました。平成21年12月に実施した普通株式の公募増資による自己資本の増加や、泉州銀行の非連結化などによるリスクアセットの減少が主な要因です。

## 平成21年度第3四半期決算に関するQ&A

**Q** 平成21年9月末比で貸出金・預金とも大幅に減少した背景について説明してください。

**A** 貸出金は、泉州銀行が池田銀行と経営統合し連結対象から外れたことにより1.7兆円減少したことに加えて、資本市場の正常化に伴い海外貸出も減少しました。一方で国内貸出は横ばいで推移しています。MUFGグループでは、お客さまへの円滑な資金供給を最も重要な社会的役割の一つと位置づけており、今後ともその実現に向けてしっかりと取り組んでまいります。

預金も泉州銀行の非連結化による1.9兆円のほか、海外店における市場性預金も減少しましたが、個人預金は0.8兆円増加しています。

**Q** 円滑な資金供給に対する具体的な取り組みについて説明してください。

**A** 三菱東京UFJ銀行および三菱UFJ信託銀行では、平成21年12月に金融円滑化を推進するための基本方針を定め、本部に専門の担当部署を設置するとともに、各拠点に推進責任者を配置するなど態勢の整備を行い、お客さまへの円滑な資金供給や貸出条件変更のご相談などへの取り組みを強化しています。これらに加えて、大規模な商談会の開催やコンサルティング会社のご紹介などを通じて、お客さまを営業・経営の両面でもサポートしてまいります。

## 損益の状況(連結)

(単位：億円)

	平成20年度第3四半期 (平成20年4月～12月)	平成21年度第3四半期 (平成21年4月～12月)
<b>連結業務粗利益(信託勘定償却前)</b>	<b>24,928</b>	<b>26,898</b>
うち資金利益	14,101	16,511
うち役務取引等利益	7,228	7,171
<b>営業費</b>	<b>15,729</b>	<b>15,640</b>
<b>連結業務純益</b> (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	<b>9,198</b>	<b>11,258</b>
<b>臨時損益(△は費用)</b>	<b>△ 8,362</b>	<b>△ 6,317</b>
うち与信関係費用	△ 4,646	△ 4,897
うち株式等関係損益	△ 3,263	△ 200
<b>経常利益</b>	<b>1,139</b>	<b>3,560</b>
<b>特別損益(△は損失)</b>	<b>△ 32</b>	<b>89</b>
うち償却債権取立益	244	406
うち子会社株式売却益	327	138
うちのれん償却額	—	△ 279
<b>法人税等合計</b>	<b>903</b>	<b>986</b>
<b>少数株主利益</b>	<b>623</b>	<b>493</b>
<b>四半期純利益(△は損失)</b>	<b>△ 420</b>	<b>2,170</b>
<b>与信関係費用総額(△は費用)</b> <small>(与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額 +与信関係費用(臨時損益内)+偶発損失引当金戻入益(与信関連))</small>	<b>△ 4,335</b>	<b>△ 6,277</b>

## 資産・負債の状況(連結)

(単位：億円)

	平成21年9月末	平成21年12月末
<b>資産の部</b>	<b>2,028,021</b>	<b>2,012,362</b>
うち貸出金	880,320	853,925
うち有価証券	573,843	541,555
<b>負債の部</b>	<b>1,928,564</b>	<b>1,903,103</b>
うち預金	1,220,437	1,191,247
<b>純資産の部</b>	<b>99,456</b>	<b>109,259</b>

## 連結自己資本比率の状況(第一基準)

(単位：億円)

	平成21年9月末	平成21年12月末
<b>自己資本比率</b>	<b>13.29%</b>	<b>14.83%</b>
<b>Tier1 比率</b>	<b>9.13%</b>	<b>10.46%</b>
<b>自己資本</b>	<b>129,489</b>	<b>139,266</b>
<b>Tier1</b>	<b>88,943</b>	<b>98,269</b>
<b>総所要自己資本額</b>	<b>77,894</b>	<b>75,124</b>

## MUFGカードに「銀聯(ぎんれん)カード」誕生

三菱UFJニコスは、平成22年3月16日、主に中国へ渡航されるお客さま向けのクレジットカード「銀聯カード」の発行を開始します。



銀聯ブランドのカードは、中国で最も使われているカードで、加盟店網は中国の都市部から地方都市まで広がっており、広範な地域でカードショッピングをお楽しみいただけます。また、中国滞在中の急なけがや病気の際に日本語の通じる医師や病院をご案内するなどのサービスや、中国を含め日本国外の銀聯加盟店でのショッピングご利用でポイントが2倍になるなど、特典も充実しています。

「銀聯カード」はMUFGカード会員のご希望者に追加で発行します(年会費は無料。発行手数料は1,050円(税込))。詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください。どうか、コールセンターまでお問い合わせください。

三菱UFJニコスウェブサイト	<a href="http://cr.mufg.jp">http://cr.mufg.jp</a> (「銀聯カード」に関するご案内は平成22年3月16日に掲載予定)
MUFGカードコールセンター	入会専用ダイヤル 0120-151-117 (毎日9:00～21:00)

## 本業を通じた環境問題への取り組みを強化

MUFGグループでは、企業のお客さまの環境問題への取り組みをさまざまな貸出商品を通じて積極的に支援しています。

三菱東京UFJ銀行では、平成21年11月、環境省の制度\*を活用した「環境経営支援ローン」を開発しました。このローンは、お客さまが同行の設定した環境基準を満たされた上で、一定の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出削減などをお約束いただくことで、最長3年、年率3%を上限に利子補給金を受けとることができる商品で、環境配慮型ショッピングモールの設備投資などにご利用いただきました。

三菱UFJ信託銀行では、同年7月に「CO<sub>2</sub>削減サポートローン」を導入し、太陽電池関連の設備投資などにご利用いただいています。これはCO<sub>2</sub>削減目標を宣言されたお客さまの借入金利を優遇する商品で、万一、目標に達しなかった際は、別途積み立てた管理金を排出権信託受益権の購入など環境問題への貢献に充てる仕組みとなっています。



環境配慮型のショッピングモール(イメージ図)

\*平成22年2月末に申し込み期限が到来



## ブラジル、ロシアでの業務提携

三菱東京UFJ銀行は、平成21年9月にブラジル政府全額出資の政府系金融機関である「ブラジル国立経済社会開発銀行」と業務提携契約を、同年11月にロシア政府全額出資の政府系開発銀行である「ロシア開発対外経済銀行」と業務協力協定を、それぞれ締結しました。

豊富な天然資源を有する両国は、成長著しい中国、インドとともに「BRICs」と呼ばれ、中長期的にも高い成長が見込まれる有望な市場です。大型の開発投資案件も増加しており、両国へ進出を検討されるお客さまも大変多くなっています。

MUFGグループでは、世界中に広がる幅広い拠点ネットワークに加え、こうした提携を通して、今後ますます発展が見込まれる新興国市場においても、お客さまへのサービスを充実させていきます。



ロシア開発対外経済銀行との業務協力協定調印式

## モルガン・スタンレー証券と共同でセミナーを開催

三菱東京UFJ銀行は、平成21年12月、三菱UFJ証券と戦略的提携先であるモルガン・スタンレー証券と共同で、企業のお客さま向けに「グローバル経営支援セミナー」を開催しました。

当日は、ともに経済分析の第一人者として知られるモルガン・スタンレー証券のロバート・フェルドマン経済調査部長や三菱UFJ証券の水野チーフエコノミストによる講演に続いて、金融危機後の世界経済の行方や日本経済・日本企業の今後の成長戦略に関する討論会を行いました。個性あふれるエコノミストの参加によりお客さまには大変ご好評をいただき、大盛況のセミナーとなりました。

モルガン・スタンレーとの日本における証券会社の統合については、平成22年5月を目処に両社の証券事業を統合して、世界でトップクラスの証券・投資銀行サービスを幅広くご提供できる体制を実現すべく準備を進めています。



## 環境展示会「エコプロダクツ2009」に出展

MUFGグループは、平成21年12月に東京ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ2009」(主催：社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社)に出展しました。

「エコプロダクツ」とは、企業の環境への取り組みや環境配慮型商品・サービスなどに関する情報発信の機会を提供することを目的に開催されている国内最大級の環境展示会です。11回目となる今回は、700を超える企業・団体が出展し、これまでで最多の約18万人が訪れました。

MUFGグループのブースでは、環境教育プロジェクト「守ろう地球のたからもの」\*で地域の方々と一緒に植樹を行っている世界自然遺産「白神山地」の現状を大型モニターで放映し、自然保護の重要性を呼びかけました。また、子どもたちが風や水の音、木々のざわめき、鳥のさえずりなどに耳を傾け、思い思いの絵を描きながら自然の大切さを楽しく学ぶ特別授業「自然の音で絵をえがこう」も行いました。

\*MUFGグループで取り組んでいる自然環境などを人類共通のたからものとして未来へ引き継いでいくためのプロジェクトです。子どもたちが環境問題を楽しく学べる教材の制作や植樹活動などを行っています。



特別授業「自然の音で絵をえがこう」



## 劇団四季「こころの劇場」へ協賛



文化協賛事業「劇団四季「こころの劇場」(撮影：阿部章仁)

三菱東京UFJ銀行は、子どもたちの健やかな心の成長を願って、劇団四季の「こころの劇場」に協賛しています。「こころの劇場」とは全国の子どもたちを演劇に無料招待する取り組みで、今年度は55万人の子どもたちが参加しました。演劇を通じて、「生命の大切さ」

「人を思いやる心」「信じあう喜び」など、生きていく上で大切なものを伝えています。

同行はさまざまな社会貢献活動を行っていますが、その一環として、毎年「こころの劇場」の入場券を各拠点近隣の児童養護施設にお配りしています。招待した子どもたちからは、「命の素晴らしさ、友情の大切さを教えてもらいました」などたくさんのお手紙をいただいています。

## テレビ番組「未来へのおくりもの」を放映中

MUFGグループは、CSR(企業の社会的責任)活動の一環として平成21年5月からテレビ番組「未来へのおくりもの」(BS-TBS/ 毎週土曜22:00~22:30)を提供しています。

この番組では、本業を通じて社会的な課題に取り組む企業や団体の活動を紹介しています。また、当社ホームページ上でも動画をご覧いただけます。

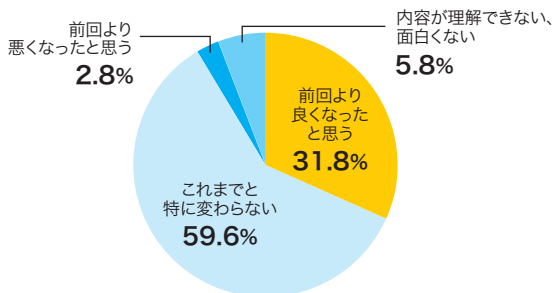
社会とともに 映像ライブラリー  
<http://www.mufg.jp/csr/movies/>



# 株主アンケート結果のご報告

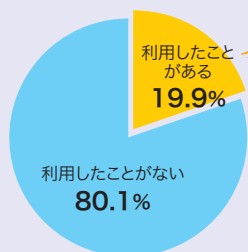
「株主の皆さまへ 第5期第1四半期」(平成21年9月発行)のアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケート結果をご報告します。

## 「株主の皆さまへ第5期第1四半期」の感想

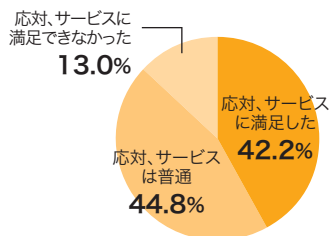


## 三菱UFJ信託銀行証券代行部について\*

### ■ 株式事務サービスやテレホンセンターのご利用



### ご利用されたことがある方の感想



三菱UFJ信託銀行証券代行部のサービスに関して「満足した」とするご意見が多く寄せられた一方、テレホンセンターについては、電話がつながりにくい、待ち時間が長いときがあるなどサービスの向上に関してさまざまなご意見をいただきました。

皆さまからいただいたご意見を踏まえ、株式事務サービスの向上に取り組んでまいります。

\*三菱UFJ信託銀行証券代行部は、株主名簿管理人として、株主名簿の作成、株主総会関係書類の封入・発送などの証券代行業務を行っています。

ご回答いただいた株主の皆さま／回答者数：28,605名(回答率4.3%)

## ■ 株主優待制度に関するアンケートのお願い

当社の株主優待制度(「MUFG株主倶楽部」)に関するアンケートハガキを同封しています。大変お手数ですが、ご回答をご記入の上、ご返送くださいますようお願い申し上げます。本アンケートの結果は、今後の優待制度の参考にいたします。株主の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

## 各種メディアが、MUFGの株主さま向け活動を紹介

### 当社の株主さま向けセミナーが日経ヴェリタスで紹介されました。

当社の株主さま向けディーリングルーム見学会が一味違う施設見学会として紹介されました。今後も株主さま向けディーリングルーム見学会や経済セミナーを定期的に行っていきます。

### 真相報道バンキシャ!(日本テレビ系列)で当社株主優待の内容が紹介されました。

BIGLOBEマネーが集計した株主優待人気ランキング(平成21年の1年間)で、当社の株主優待が第3位に選ばれ、「真相報道バンキシャ!」で紹介されました。

## ディスクロージャー誌活用編「MUFGのある暮らし7号」を発行

平成22年1月、MUFGグループの商品・サービスなどをご紹介する冊子「MUFGのある暮らし7号」を発行しました。

今号では、特集として「住空間」をテーマに、一般読者のレポートや関連する商品・サービスをご紹介しているほか、相続対策、医療保険の記事なども掲載しています。

お近くの三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行の窓口で無料配布しています。また、MUFGのホームページでもご覧いただけます。



## グループメッセージについて

MUFGグループは「Quality for You」を  
グループメッセージとして、  
お客さまとのさまざまな  
コミュニケーションの場で展開していきます。

# Quality for You

このメッセージには、  
「『質』の高いサービスのご提供を通じて、  
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の  
『質』の向上をお手伝いしたい。  
そして、こうした活動を通じて  
地域・社会の発展に貢献していきたい」  
という私たちの想いを込めています。

### 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1  
電話03(3240)8111(代表)  
URL:<http://www.mufig.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、  
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。  
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター  
電話:0120-232-711(通話料無料)  
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)